

# 市議会だより No.40

平成28年2月15日

## 防府市誕生 80歳！



看板を町から市へ架け替え

防府市は今年、市制施行 80周年を迎えます。昭和 11年 8月 25日に当時の防府、中関2町と華城、牟礼の2村が合併して県内で6番目の市として誕生。庁舎は旧防府町役場を利用（現在、第 15周防ビル・車塚町 6-13の位置）しました。人口は約5万3千人で、その後、昭和 30年までに西浦、右田、富海、小野、大道の5村を順次編入し、現在に至っています。

### 12月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P9
会派・議会運営委員会・議会改革 推進協議会名簿、常任委員会名簿	P10

特別委員会の報告	P10～P11
視察報告	P11
議会日誌	P12
3月定例議会の予定	P12

# 平成27年 12月 定例議会

12月定例議会は、11月30日から12月22日までの会期23日間の日程で開催され、平成27年度一般・特別会計補正予算をはじめ、第四次総合計画基本計画、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の制定など議案23件、選挙2件、選任5件、承認1件、報告9件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、副議長の辞職により、新たに山田耕治議員を選出し、議会運営委員の選任及び各常任委員会の正副委員長の互選も行いました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

賛否が分かれた議案に対する議員の態度は、P3をご覧ください。

## 人事

### ■固定資産評価審査委員会委員の選任

- 再任 中谷安彦さん(大字台道)
- 再任 山本好子さん(大字新田)
- 再任 藤原由美子さん(高倉一丁目)  
(賛否No.1)

### ■監査委員の選任

- 再任 中村恭亮さん(東松崎町)
- 退任 吉村弘之議員(大字浜方)
- 新任 今津誠一議員(東二田尻一丁目)

### ■公平委員会委員の選任

- 再任 山根憲二さん(大字西浦)

### ■選挙管理委員会委員の選任

- 伊藤賢治さん(大字下右田)
- 齊藤清子さん(警固町二丁目)
- 竹屋勝典さん(大字西浦)
- 東福和美さん(大字中山)

## 一般議案

### ■第四次総合計画基本計画の変更

「人・まち元気 誇り高き文化産業都市防府」の実現に向けて、平成23年3月に策定しましたが、社会情勢の変化や基本計画の進捗状況を踏まえ、中間年度に見直しを行うとともに、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき取組の推進を新たに定めるなど、現在の基本計画を変更するものです。

## 条例

### ■行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例を制定

市が独自業務においてマイナンバーを利用する場合と、部署間で特定個人情報を利用する場合の根拠を定める条例案が提出されました。

マイナンバー制度は問題が多い、独自利用を行わない選択はなかったのかという意見がありましたが、賛成多数で可決されました。  
(賛否No.2)

## 予算

### ■平成27年度一般会計補正予算

1億7,529万9千円を増額し、補正後の予算総額を424億6,007万1千円とする予算案が提出されました。主なものは、勝間小学校・中関小学校屋内運動場天井等落下防止対策事業費1億40万円、華西中学校同事業費3,660万円、サテライトオフィス誘致事業費補助金411万5千円、認定こども園の松崎幼稚園・中関幼稚園の保育所機能部分の施設整備に係る社会福祉施設整備費補助金1,414万1千円、中関幼稚園の幼稚園機能部分の施設整備に係る認定こども園施設整備費補助金4,245千円などです。

### ■平成27年度特別会計補正予算

国民健康保険事業外6つの特別会計補正予算を原案のとおり可決しました。

## 報告

### ■華城小学校仮設校舎リース契約

契約相手 コマツハウス(株)広島営業所  
契約期間 平成27年10月16日から平成28年4月30日まで  
契約金額 1億2,420万円

### ■公共下水道防府浄化センター長寿命化(第二期)工事委託に関する協定

契約相手 日本下水道事業団  
契約期間 平成27年9月24日から平成29年3月31日まで  
契約金額 2億4,210万円

### ■中関小学校給食調理等一部業務委託の契約

契約相手 西日本フードサービス(株)  
契約期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日まで  
契約金額 8,197万2千円

### ■華城小学校給食調理等一部業務委託の契約

契約相手 西日本フードサービス(株)  
契約期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日まで  
契約金額 8,197万2千円

### ■玉祖小学校給食調理等一部業務委託の契約

契約相手 西日本フードサービス(株)  
契約期間 平成28年4月1日から平成33年3月31日まで  
契約金額 4,212万円

副議長就任挨拶



副議長  
山田 耕治

昨年11月30日の市議会定例会において、副議長に就任いたしました。

防府市は今年、市制施行80周年を迎えます。そして、現在の議員メンバーで議会運営をするのも、任期満了のため11月までとなります。

このような節目の貴重な時に、副議長という要職に就かせていただくにあたり、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

防府市の発展と住民福祉の向上のため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

市民の皆様には、今後も引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

賛否No.	平成27年12月定例会	党派・議員名（※議長は除く）																賛否の合計		議決結果									
		自由民主党 一心会				和の会				絆		公明党		日本共産党	改革の会	市民クラブ	無所属の会	賛成	反対										
		上田	橋本	松村	安村	行重	吉村	今津	清水	田中敏	小林	平田	藤村	安藤	河杉	三原	山田				高砂	山下	山根	木村	山本	和田	田中健	久保	
1	固定資産評価審査委員会委員の選任（藤原由美子氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	同意	
2	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	原決 案可 原決 案可
3	介護保険条例及び国民健康保険条例中改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	3	原決 案可	

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。  
※安藤議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

山頭火ふるさと館建設（建築主体）工事請負契約の締結

（平面図）

1階

機械室 常設展示室 特別展示室 収蔵庫 休憩コーナー トイレ 授乳室 出入

導入展示室

平成29年10月オープン予定

山頭火ふるさと館（宮市町）の建設にあたって、制限付き一般競争入札が行われ、成長建設（株）が落札し、工事請負契約を可決しました。契約金額は2億6,082万円で、工期は平成28年12月19日までです。なお、オープンは平成29年10月を予定しています。

※一部2階（事務室上）に倉庫、書庫が設備されます。

階数：平屋建て一部2階  
 構造：木造 鉄筋コンクリート造  
 建築面積：591.60㎡  
 床面積：1階549.21㎡・2階40.10㎡  
 延べ床面積：589.31㎡



（学校施設等を利用し、下校後における児童の集団生活を指導）

留守家庭児童学級・児童クラブ

## 保育時間を30分延長！

留守家庭児童学級・児童クラブの保育時間が、平成28年4月1日から30分延長されます。

現行 午後6時 → 改正 午後6時30分

# Q&A

## 一般質問



12月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を2月下旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

### ふるさと納税寄附金の拡充を 指定寄附制度の導入を、観光について

今津 誠一(和の会)

**問** ふるさと納税の寄附金が増えている。平成26年と比較して約3.9倍。特に返礼品を充実した自治体の伸びが著しい。寄附金は、地方創生を推進する力となる。また、返礼品は地場産業の振興につながる。防府市は、県内13市中、下から2番目。拡充に積極的に取り組むべきでは。

**市長** 返礼品の充実を図り、積極的に取り組んでいく。

**要望** 寄附者の意向を尊重し、使途を指定すること、寄附金額を大幅に増やした自治体がある。地方創生の重点事業やNPOの事業を指定していたことを強く要望する。

**市長** 導入に向け、検討を進めていく。

**問** 萩市は「明治維新胎動の地」、山口市は「明治維新策源地」というキャッチコピーを掲げている。防府市の維新期の歴史に

相応しいキャッチコピーを早く掲げるべき。ちなみに私は、伊藤・井上兩公の富海上陸を起点に、攘夷から開国に回天した史実に鑑み、「一回天」が最も相応しいと考えるが、**産業振興部長** 維新150年に向けた実行委員会で御意見を頂戴し、決定したい。

**問** 訪日外国人が急増しているが、都会や有名観光地のみならず、地方の「知られざる名所」にも殺到している。誘致の具体策を問う。

**産業振興部長** 台湾、韓国、中国など東アジア圏をターゲットとして取り組みたい。

**意見** 外国人はアジア圏だけではない。世界の外国人を対象に誘致策を考えるべき。その際、日本の良さを世界に発信してくれる世界各国のプロダクトと連携することが、誘致の決め手となる。

### サッカーグラウンド建設について

山下 和明(公明党)

**問** サッカーグラウンド建設検討会議は、スポーツセンター南側運動広場にサッカーグラウンド2面を設ける内容の提言書を平成27年中に市長へ提出する方針を決めたとのこと、候補地を具体化してきたが、今後の対応と設置の見通しはどうか。

**市長** 検討会議では、グラウンド表面は人工芝とする、建設候補地は陸上競技場のグラウンドと一体で利用することによって、大規模な大会を誘致することも可能になること、夜間照明が充実しており、新たに設置するものが最小限に抑えられることから、スポーツセンター南側運動広場が最も適しているという意見でまとまった。また、広く市民が利用できる多目的広場とすることで、サッカーだけでなく、野球やソフトボールといった他の競技でも利用でき

るものとし、付帯設備についても必要な整備を求めると聞いている。検討会議の結果を提言書として取りまとめ、平成27年中には提出すること、提言書の内容を踏まえ、財政事情を鑑みながら、建設に向けて鋭意取り組んでいく。

**問** 最善の候補地だと思うが、平成27年中に提言書が提出されれば、平成28年度には基本設計及び実施設計にかかる予算を計上するの。

**市長** 当然、そのような動きに入っていないかならない。

**問** 人工芝のサッカーグラウンドを1面設置する事業費はどうか。

**総合政策部長** 平成28年度で実施する設計の中で精査するが、概算で1億3千万円である。

**その他の質問項目**  
◆公共工事の発注を平準化してはどうか。

## 防府市の地方創生 ～企業版ふるさと納税について～

橋本 龍太郎（自由民主党一人心会）

**要望** 国が進める地方創生は、全部の地方都市が対象ではない。国にそこ

までの余裕はなく、これから厳しい都市間競争を生き残ることができると

地方都市は、「自ら考え、スピード感を持って実行できる自治体」である。

市としても補助金、交付金だけを当てにせず、この流れに取り残されないようしっかりと準備し、様々な政策に取り組んで

いただきたい。

**問** 平成28年度から施行が予定されている企業版ふるさと納税の制度概要は？

**市長** 寄附対象となる事業は地方版総合戦略に位置付けられた事業で、地方創生の推進で効果が高いと内閣が認定した事業とされている。企業への

税負担軽減措置では、寄附に対し全額を損金算入することで60%を法人住民税や法人税から税額控

除できるものとなっている。

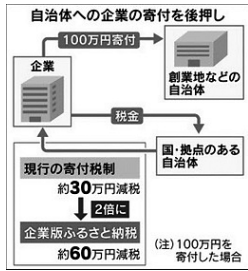
**問** この政策を実行するにあたりトップセールスは不可欠。トップセールスマンとしての市長の意気込みは？

**市長** 広島、関西、東京などに出向き、市内進出企業などを訪問、この制度の説明やお願いを積極的にしていきたい。

**問** これから厳しくなる都市間競争における市の考えは？

**市長** 総理の一億総活躍に應えるためには、一億総自立でなければならぬと考えており、このことにより難局を乗り切ることができると考えてい

る。



## ものづくりのまち防府を！

山田 耕治（絆）

**問** 防府市売れるものづくり支援事業の取組で、開発事業や販路拡大などに係る経費の一部を補助しているが、制度に対しての評価をどう分析しているか？

**市長** 平成26年度までの5年間で新商品や新技術の分野で4社、販路拡大の分野で16社が認定を受け、助成金を活用。市の産業力の強さを印象付けることにも繋がっている

ので、今後も継続していきたい。

**問** 若者が技術に親しむための取組や製造業の人材育成の支援を考えるべきでは？

**市長** 市内で頑張っている若者を国・県の制度へ推薦できるように、優れた技能保持者等を把握していきたい。

**問** （仮称）防府市製造業等活性化支援事業の取組など、イベントも含めた計画も立てるべきと思

うが、どうお考えか？

**市長** ものづくりフェスタ2015のようなイベントは、積極的に広報したい。行政としての支援や方策について提言していただければと思う。

**問** 企業や学校等、人材育成に対する支援補助の考えは？

**市長** まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で議論していきたい。



技能五輪全国大会へ出場した二人

**その他の質問項目**  
◆市民の安全安心なまちづくりについて

## 生活困窮者自立支援法について オープンデータ活用について

山根 祐一（公明党）

**問** 平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法は、公明党が成立に向け積極的に取り組んできた法律だが、本市の相談件数と実施内容はどうか。

**市長** 本事業は生活保護制度の要件に満たない生活困窮者の自立を支援するもので、重要と考えている。相談件数は178件で、利用申込は99件、その内就労等に至ったのは63件。内容は、生活費や就職、ローンや税金の支払、他に住まいの相談等がある。

**問** 住居確保給付金制度の利用については。

**市長** 収入や資産要件、また就職活動要件等を満たせば、原則3カ月間家賃相当額を支給するもので10人に支給している。

**問** その他任意事業についての状況は。

**市長** 一時生活支援事業は1名が利用。家計相談

事業は3名が利用し、顧問弁護士のもと債務整理等を行っている。学習支援事業は中学生を対象として、講師による学習支援を2名に行っている。

**問** 本市で公開中のオープンデータの活用方法は、今後のデータ公開、市民への周知については。

**総務部長** オープンデータは、行政が保有する公共データを個人や民間企業が利用できるよつ公開するもので、各種アプリの作成等が可能だが、具体的に想定していない。今後は市各部署において、可能なものは順次公開データを増やしていきたい。周知は、市広報への掲載などしてまいりたい。



# 花と緑のまちづくりについて

吉村 弘之(自由民主党一人心)

**問** 景観シンポジウム2015の成果と事業化について、どう考えるか。

**市長** 市内全公民館で景観ワークショップを行い、その成果を景観シンポジウムのワークショップに生かした。今後は、地区ごとにまとめた景観資源を地図化し、各公民館に配布するとともに、ホームページで公開する。

**問** 市民との協働による花と緑のまちづくり、緑化団体や緑化事業に対する助成の現状は。

**市長** 市緑化推進委員会と提携して、市内の自治会や学校、職場に花苗を提供している。平成26年度の実績では、147登録団体に対し、約20万1千本の花苗を提供した。経費を負担してもらった記念植樹は、昭和62年度からの累計で1,365本あった。同委員会には、毎年50万円の補助金を交付し、緑花祭などの費用

に充てられている。

**問** 市内の花き生産の状況は。

**産業振興部長** 市内の花き生産額は年間3億4千万円で、畜産を除いた全農産品の13%を占め、県内でも12%のシェアを誇る。農家は46軒で、菊やカーネーションなどを生産している。

**問** 防府駅前に緑のまちづくりのシンボルガーデンを作る考えはないか。

**産業振興部長** 現在は、イベント時に花のプランターを並べるなどとして対応しているが、今後については他市の事例を研究していきたい。



中関小学校花壇

# 障害者差別解消法の施行 食育推進計画・通学路のカラー舗装

田中 健次(市民クラブ)

**問** 障害者差別解消法が平成28年4月から施行されるが、市の体制はどうか。法律の第10条に定める市職員の対応要領は策定されているか。

**市長** 法律にのっとり取り組めます。市職員対応要領は平成27年度中に策定し、平成28年4月から施行の予定です。

**問** 法律の第14条に定める相談や紛争防止の体制整備はどうするのか。

**市長** 障害を理由とする差別に関する相談・苦情の受付窓口を障害福祉課内に設置し、解決を図っていきます。

**問** 食育推進計画を健康増進計画と統合して策定する予定としているが、食育推進計画は、学校給食、食品の安全、消費生活、農林水産業とも関連しており、これまでごおり独立の計画として策定すべきではないか。

**健康福祉部長** 食育は、健康づくりと一体的に取り組むことが効果的と考えられており、健康増進計画の中で、食育推進計画に関する部分も検討します。



カラー舗装

**問** 通学路のカラー舗装が整備されてきたが、通学の児童・生徒が多くても、学校からの距離が長いとカラー舗装されていない。距離に関係なく、児童・生徒が多数通る通学路は整備すべきだ。

**土木都市建設部長** 平成19年度から小学校周辺のカラー舗装を始め、現在小・中学校から500m以内を完了し、平成23年度から範囲を1kmまで拡充しました。今後は1kmを超える通学路についても柔軟に対応します。

# クリーンセンターの運営状況について 住宅リフォーム助成制度の継続・拡充を

山本 久江(日本共産党)

**問** 平成26年4月から、ごみ焼却・バイオガス化複合施設として供用開始したが、この間のごみ処理状況の特徴は。

**生活環境部長** 平成26年度は、可燃ごみ搬入量の約1割強をバイオガス化施設で発酵処理し、発生したバイオガスは有効利用している。また、焼却灰の全量セメント原料化や小型家電の回収など、ごみの減量化とリサイクルの向上が図られた。

**問** 防府市のような施設は、全国でも数少ないが、平成27年、同様の施設で爆発事故があった。どのように受け止めているか。

**生活環境部長** 調査をしたが、同じような事故が起こるといったことにはならないと考える。

**問** 本事業は、PFI事業で、20年間で100億円を超える市民の税金を使い、施設の運営維持管理を委託する。市執行部

議会、市民が十分な情報を得てチェックできる体制が必要だが、どうか。

**生活環境部長** 施設管理室を設置し、問題点や実績等、協議・検討を行っている。

**問** 祝日の燃えるごみ収集は、冬場も実施してほしいとの要望が多いが、どうか。

**生活環境部長** 今のところは、このまま進めたい。

**問** 中小企業振興基本条例の目的に沿い、市内中小企業の実態調査を実施してほしいが、どうか。

**市長** 何らかのアンケートやニーズ調査を実施したい。振興会議で十分検討していく。

**問** 経済波及効果の大きい住宅リフォーム助成制度を平成28年度も継続し、予算の増額と内容の拡充が図れないか。

**市長** 最低限、平成28年度も同じ予算規模、内容で実施したい。

### 除草・防草対策、市営納骨堂設置 成人用肺炎球菌ワクチン接種

高砂 朋子（公明党）

**問** 今後、市道等の安全の確保や良好な景観を維持するために、除草だけでなく防草対策を実施していくことが重要ではないか。また、市営住宅等の花壇に自主的に花苗を植え、景観維持に努めておられる方もいらっしゃる。今後、防草対策にも繋がるローメンテナンスの花苗等の植栽を推進してはどうか。

**市** 近年、市営納骨堂に対する要望はさらに大きくなっている状況では。近年、市営納骨堂に対する要望はさらに大きくなっている状況では。



大分市営納骨堂（市ホームページより引用）

**市** 近年、埋葬に関する意識が多様化しており、時代に即した取組が必要。今後、納骨堂を含めた墓地・墓園の需要の把握と計画的な供給について工程を定め、積極的に取り組んでまいりたい。

**問** 平成23年6月、新たな墓地需要に対応するための市営納骨堂が必要ではないかとの一般質問に、「設置に向けて進めてまいりたい」と答弁。

**健康福祉部長** 市広報や対象年齢の人へのはがきによる案内を継続し、周知を図る。

### 市内に石炭火力発電所 CO2削減の努力を強めよ

木村 一彦（日本共産党）

**問** 異常気象による大規模な自然災害が頻発。今、温室効果ガスの排出を削減し、地球温暖化に歯止めをかけることが全人類の緊急課題になっている。COP21では全参加国による大幅な温室効果ガス削減が合意された。ところが、日本は二酸化炭素の排出が格段に多い石炭火力発電所を新たに48基も建設する計画で「脱炭素」の流れに背を向けるものと批判された。この内の1基が、我が防府市に計画されている。これにどう対応されるのか。

**市** 計画は木質系バイオマスと石炭を混焼するもので、二酸化炭素排出量の抑制が十分になされるようバイオマスの混焼比率を可能な限り増加させることという意見を県に対して述べた。

**市** 計画は木質系バイオマスと石炭を混焼するもので、二酸化炭素排出量の抑制が十分になされるようバイオマスの混焼比率を可能な限り増加させることという意見を県に対して述べた。



石炭・バイオマス混焼火力発電所を計画

### 豪雨時の洪水対策について 防災士の活用方法について

清水 浩司（和の会）

**問** 佐波川の危険箇所を把握はできているか。

**市** 国土交通省が河川整備を行っている。中国治水期成同盟会副会長として、治水に関する予算の確保を要望している。佐波川の危険箇所については、国土交通省山口河川国道事務所（以下、「国交省」）が佐波川合同巡視を毎年行っており、平成27年度は、4月に水防団や防府市も危険箇所を見て回っている。

**問** 越水対策はできているか。

**市** 越水の恐れのある箇所や水防工法について説明を受けた。国交省では、大型土嚢、根固めブロックなどを確保し、建設会社との間で災害時の協定を締結するなど、対応していくとのこと。

**問** 河川に溜まった土砂の回収予定は。

**市** 国交省では平成26年度までは新橋・人丸



研修を実施する。

## 保育行政について

藤村 こずえ(和の会)

**問** 平成27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」は、急速な少子高齢化の進行、結婚・出産・子育ての希望が叶わない現状、子育て支援が質・量とも不足、深刻な待機児童問題等の様々な課題に対し、子育てを社会全体で支える目的でスタートした。この制度に期待した人は多かったと思うが、最近、保育園に入りたいがなかなか入れないという声を聞くことがある。そこで本市の入所児童の現状を伺う。

**市長** 保育所の利用手続は、市の利用調整が義務化され、利用希望の家庭の保育の必要度を点数化し、希望する保育所ごとに順位をつけ、利用先を決定している。保育士不足の現状もあり、0歳・1歳の利用が難しくなっている。新制度が始まり、子育て支援が充実すると

期待されていた保護者の気持ちに反する形で、保育所を利用できない子どもがいえることは誠に残念。

**問** 公平性を保つための数値化は理解できるが、様々な理由で本当に困っている方に対して個々に応じた配慮が必要ではないか。

**健康福祉部長** 保育所利用の緊急度の高い方については配慮していく。今後、待機児童が発生しないよう、保護者が安心して仕事と家庭の両立ができるよう受入体制の充実に努める。

**要望** 女性の輝く社会の実現、核家族化の進展など、子育てを社会全体で支援していくことが必要。一人一人に寄り添った子育て支援の充実を。



## 人材活用・育成、秋往還・旧山陽道の整備 まちづくりの実践について

和田 敏明(改革の会)

**問** 専門的知識と豊富な経験を持ち、皆をリード、指導できる人材の活用・育成をどのように進めていけるのか？

**市長** 専門的人材の育成は容易ではなく、豊富な経験と実績を積まれた専門家の指導も受けながら進めている。

**問** 市長の諮問機関として、まちのデザインや景観に配慮するため「防府市デザイン会議」を設け、全ての事業に対し、この機関の承認を受けなければ事業に着手できないようなシステムを構築しているか？

**市長** 全く同感である。デザイン会議のようなものは必要。早速、内部で協議して議会にもお諮りして進めたい。  
**問** 交通量の減少や安全面について指摘されてきたが改善されていない。どのようにお考えか？  
**市長** 交通社会実験をし

た。「狭さく」や「スラローム」を設置したところ、効果を実感しているとの評価をいただいた。

**要望** 安全確保は大変と思うが、引き続きの努力をお願いする。

**問** 整備された沿道の空き地等の活用方法など市からも積極的に提言し、周囲の景観への配慮、景観形成などのソフト面も進めていくべきでは？

**市長** 民家のファサードの統一整備もされず、空き地も未利用のままであることは、景観上好ましくないことは承知している。市民・事業者・行政が協働して、歴史を活かしたまちづくりにふさわしい景観形成に取り組んでいく所存である。

**要望** 現在の駐車場だらけの景観を良しとしなさい。民地の活用についても物が建ってしまっただけでは遅い、先手先手で進めてほしい。

## 市民からの要望への対応について

久保 潤爾(無所属の会)

**問** 市民から「要望書」を提出したが、その後どうなっているかの情報が無い。という相談をされることがある。市政なんでも相談課においては、要望対応のルールが定められ、要望書を提出された方への返答も行われているが、市民からの要望が多い部署である道路課・河川港湾課についても、そういったルールを定めるべきではないか。

**市長** 平成19年4月に市政なんでも相談課を創設し、相談窓口の一元化を図り、要望に対し迅速に対応するよう努めてきた。市民からの要望書が各部署へ直接提出された場合にも、市政なんでも相談課に集約し、迅速かつ適切な対応をするよう指示したところである。

**問** 道路課・河川港湾課に寄せられた要望書の件数と、対応ができていない案件の件数は。



**土木都市建設部長** 平成24年度が44件の内未着手が10件、平成25年度が62件の内未着手が19件、平成26年度が70件の内未着手が37件である。  
**問** 未着手の案件について、要望書の提出者に、文書などで進捗状況の連絡はしているのか。  
**土木都市建設部長** 要望を受けた直後の回答は行っていたが、相当の期間を要するものについては、その後の報告が十分ではなかった。今後は新年度ごとの早い時期に、要望書の提出者に対し書面での状況報告することにも、市政なんでも相談課に要望を集約し、適切な対応を行っていききたい。



### 高齢者向けまちなか市営住宅の新築 「迫戸川の暗渠」の開渠を

中林 堅造（和の会）

**問** 旧国道2号線以北も含めて防府駅周辺1、000m程度以内で、商業施設があり、景観豊かで散歩もしやすく、医療施設も近くにあり、高齢者等福祉施設の整備された場所に、高齢者向けの市営住宅の用地確保を。

**市長** 交通機関、病院への通院、食料品等の買物など、利便性が高く、高齢者が孤立することなく子どもから高齢者まで多様な人々が共に支え合い、安心して暮らせる市営住宅も必要。平成28年度防府市公営住宅等長寿寿命化計画の見直しにおいて、まちなかの民間賃貸住宅や高齢者施設の入居状況を参考にする必要があります。また、団塊世代の方にアンケートへの協力も検討。住居の供給戸数、住戸の形式、立地等考慮して策定予定。

**問** 山頭火の小径（迫戸川の暗渠）から、らんか

ん橋までを開渠にしてはどうか。

**土木都市建設部長** 市民の生活道路として利用されている。歴史、佐波川を活かしたまちづくりが目標の「都市再生整備計画事業」では、賑わいの創出や景観に配慮した整備を推進していることから、開渠にするという提案は、水辺を取り戻し、景観・観光の点からも非常に参考となる。実現のためには、車両の一方通行はもちろん、若干の用地買収が発生すると予想され、地域住民の協力が不可欠。来訪者の回遊性の確保を目的として、山頭火の小径の修景整備を予定。らんかん橋まで来訪者の誘導ができ、周辺の景観も改善すると考えている。



### 病院・駅に直通の乗り合いタクシーを！ 窓口業務を民間委託に！

松村 学（自由民主党一心会）

**問** 超高齢化や交通不便地区のために新たな生活交通の取組を議論して、15年が経つ。遅々として進まないし、実験中のデマンドタクシーも成果を得ていない。病院になかなか行けず、受診拒否となり、命を落とす人もいると聞く。一刻も早く、抜本的な見直しをするべきではないか？私が長きにわたり主張してきた牟礼・江泊地区についてはどうか？

**市長** 効果を出すために、通院や買物、交流など日々の暮らしに密着した改善計画案を作成し、牟礼・江泊地域も含め、市内全域を対象にした新たな生活交通導入を進めて行く。

**問** 総社市の例のように、抜本的に新たな生活交通の導入を図るなら、バス事業者の経営の圧縮になることを考えるのでなく、事業者の経営の効率化を

図り、一緒に新たな生活交通を運営して行くよう市長自ら出向き、トップとして話をまとめてはどうか？

**市長** 平成28年度から、バス事業者へ自ら出向き、新たな生活交通の確立に向けて取り組みたい。



**問** 市民が一番利用されている戸籍謄本等発行の窓口サービスで、市民から職員の対応が悪いなど苦情を聞く。他市では民間委託をして、窓口サービスへの市民満足度がかなり高まり、クレームゼロとコスト削減を成功させているが、導入できないか？

**市長** 一刻も早く実現できよう進めていく必要があると考えている。

### 防府音楽祭（議場コンサート） 弦楽四重奏の音色に魅了

「第15回防府音楽祭」（オープニング街角コンサート）が1月8日、公会棟の議場で開かれました。ヴァイオリン、チェロなどの弦楽四重奏の美しい音色が、来場された約130人の市民の方々の心を魅了しました。



総合交通体系調査特別委員会の報告

（平成27年11月9日）

前回の委員会に引き続き、市執行部より説明を受け、質疑等を行いました。

■切畑デマンドタクシーのその後

「アンケート調査を実施しているが、デマンドタクシーの利用の仕方が分からないという意見はなかったのか。」との質疑に対して、「運行開始前に各自治会にお伺いし、個別にも御説明してまいりました。また、自治会の御尽力によりデマンドタクシーへの登録について地域の方に呼びかけていただきましたので、切畑地区にお住まいの方につきましては、仕組みについての御理解をいただいていると思っております。今後、機会があれば自治会へ出向いて、御説明をしてまいります。」との答弁がありました。

■今後の取組について

「住民が望んでいるのは通院や買物のため市の中心部に行きたいということで、切畑から防府駅、あるいは周辺市街地に行く便があれば多くの利用者があるはず。権益を侵す、競合してはいけない等の発想では生活交通の根本的な解決にはならない。他この競合を調整しながら、事業者にも利益になる運営の仕方を早急に考えなければならない。」

「この意見がありま



総社市を参考にすべきでは？との意見！

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会派名	人数	所属議員名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎◎正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎◎正副会長)
自由民主党 一心会	6	◎行重延昭 上田和夫 橋本龍太郎 松村 学 安村政治 吉村弘之	橋本龍太郎 ◎松村 学	上田和夫 ○吉村弘之
なごみ 和の会	6	◎今津誠一 清水浩司 田中敏靖 中林堅造 平田豊民 藤村こずえ	今津誠一 田中敏靖 中林堅造	清水浩司 中林堅造
絆	4	◎三原昭治 安藤二郎 河杉憲二 山田耕治	河杉憲二 三原昭治	河杉憲二
公明党	3	◎山下和明 高砂朋子 山根祐二	○山根祐二	◎高砂朋子
日本共産党	2	◎木村一彦 山本久江	山本久江	山本久江
改革の会	1	◎和田敏明		和田敏明
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
無所属の会	1	◎久保潤爾		久保潤爾

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。

※防府市議会では、現在8の会派が構成されています。

常任委員会名簿（任期2年）

委員会	委員数	所属委員名（◎委員長、○副委員長）	所管事項
総務	9	◎橋本龍太郎 ○和田敏明 久保潤爾 中林堅造 平田豊民 三原昭治 山根祐二 山本久江 行重延昭	防災・企画・財政・文化・スポーツ・消防・選挙など
教育厚生	8	◎河杉憲二 ○藤村こずえ 安藤二郎 田中健次 田中敏靖 松村 学 山下和明 吉村弘之	健康・福祉・教育・文化財など
環境経済	7	◎上田和夫 ○安村政治 今津誠一 木村一彦 清水浩司 高砂朋子 山田耕治	税務・戸籍・環境・産業・観光・道路・上下水道・競輪など
予算	23	◎吉村弘之 ○久保潤爾 議長を除く全議員	一般会計予算

## 庁舎建設調査特別委員会の報告

(平成27年10月26日・11月20日)

市執行部から説明がされ、質疑を交わしました。2回の委員会の概要をまとめお知らせします。

### ■建設候補地の選定予定 (10月26日)

11月に候補地を2カ所に絞り込み、その後、絞り込んだ候補地について、概算事業費を含めた詳しい資料を基に検討し、意見集約を行っていくとの予定が示されました。

また、4つの候補地案の一つである公会堂・文化福祉会館敷地については、公会堂を耐震補強し、リニューアルする市の方向性が出され、候補地には難しいことが明らかになりました。

### ■現庁舎敷地と駅北公有地エリアを選定 (11月20日)

市執行部の市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会が絞り込んだ①現庁舎の敷地、②駅北公有地エリアの2カ所を候補地とすることに、委員の意見は賛成がほとんどで、これを了承しました。

候補地の評価について、①数値として示す、②庁舎と駐車場の運営費等を加える、③計画期間が延びる可能性を比較するなどが、委員から要望されました。

このほか、職員駐車場のあり方、災害時の防災広場の併設等について質疑がされましたが、この時点では具体的な回答はなく、今後の検討に委ねられます。

※関係資料は市ホームページ庁舎建設室に掲載されています。

## 視察報告

### 環境経済委員会

(平成27年10月28日～30日)

#### ■みなとオアシスの取組(静岡県沼津市)

沼津港は、特定地域振興重要港湾に選定され、大型展望水門、立体駐車場、水産複合施設、マーケットモールを整備し、年間145万人が訪れています。そして、観光情報の発信や集客を図り、周辺観光スポットとの回遊性を向上させ、みなとにぎわいの波及、浸透の充実を図っています。

#### ■風景づくり事業(滋賀県近江八幡市)

平成16年6月の景観法公布を受け、平成17年3月に近江八幡市風景づくり条例を制定、同年7月に水郷風景計画、12月に景観農業振興地域整備計画、平成19年8月に伝統的風景計画を策定し、各々の風景特性を考慮しつつ、市域全域を対象とした景観計画となっていました。



近江八幡市の風景づくり

#### ■菜の花エコプロジェクト(滋賀県東近江市)

昭和52年、琵琶湖の大規模な赤潮発生をきっかけに石けん使用運動が始まり、廃食油をリサイクルして琵琶湖の水質保全に良い石けんを作り、バイオディーゼル燃料を精製、車両や農機具に使用し、その後、資源循環型のまちづくりとして菜の花栽培が始まりました。

## 総務委員会

(平成27年11月4日～6日)

#### ■防災体制(愛知県岡崎市)

岡崎市は、過去に伊勢湾台風等の災害に見舞われた経験から、「災害に強いまち」を目指し、平成19年に新設された新庁舎(東庁舎)には、被災地映像等を表示する総合防災情報システムを備える災害対策本部員会議室や飲用貯水槽、支援物資等を備蓄する倉庫、自家発電施設などを備え、消防指令センターを配置するなど防災機能を集約した災害時の拠点施設として庁舎の防災体制を確立しています。

#### ■野洲川歴史公園サッカー場(滋賀県守山市)

野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」は平成17年に建設されたサッカー専用施設で、公式競技が可能なサッカー場3面(天然芝1面、人工芝2面)、クラブハウス等を備えており、運営は市が出資している第3セクターの守山市文化体育振興事業団が行っています。

#### ■議会ICT(滋賀県大津市)

大津市では、議会にタブレット端末を導入し、ペーパーレスによる経費削減、情報伝達の即時化など様々な波及効果のあるICT化の推進を行っています。特に会議同期システムにより全会議資料をファイル化し、議会運営の効率化につながっています。またICTを活用し「議会の見える化」に力を入れており、その取組結果として、市民の市政への関心を惹起しています。

## 庁舎建設調査特別委員会

(平成27年11月16日～18日)

庁舎建設に一足先に取り組まれ、既に庁舎が完成している甲府市(山梨県)、三田市(兵庫県)、東広島市(広島県)の取組状況を視察調査しました。

新庁舎の規模等は、表のとおりです。  
3市とも利便性、都市計画、財政負担を考慮して現在地に建て替え、また、財政負担軽減のため、東広島市、三田市では、使える庁舎はリニューアルして活用を図っていました。

平成の合併をした甲府市、東広島市では、建設事業費の財源として合併特別債を活用していましたが、合併をしなかった三田市では、総額55億円強の費用をすべて庁舎建設基金でまかない、防府市の庁舎建設基金25億円強との差を感じました。

建物の機能としては、3市とも庁舎を防災拠点として位置づけ、建物の免震構造、非常用発電、災害用貯水槽などが整備されていたこと、環境面に配慮し、太陽光発電、エコボイド(吹抜け)による自然換気、地熱利用(甲府市)などに取り組んでいることが印象的でした。

市庁舎建設事業をこれから検討する上で参考となる様々な知見が得られた有意義な視察調査でした。

都市名	人口	構造	延床面積
甲府市	19.4万人	地上10階 地下1階	27,972㎡
東広島市	18.4万人	地上10階	17,476㎡
三田市	11.5万人	地上6階	12,955㎡

# 議会日誌

## 11月

- 2日 議会概要報告会  
環境経済委員会（所管事務調査）
- 4日 総務委員会行政視察（～6日）  
議会改革の視察受入（大分県竹田市）
- 9日 山頭火ふるさと館検討協議会  
会派代表者会議  
全員協議会  
総合交通体系調査特別委員会
- 16日 庁舎建設調査特別委員会行政視察（～18日）
- 19日 全員協議会
- 20日 庁舎建設調査特別委員会
- 24日 会派代表者会議  
勉強会  
広報編集委員会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 12月定例議会開会  
議会改革推進協議会  
広報編集委員会

## 12月

- 3日 本会議（一般質問）  
議会改革推進協議会
- 4日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）  
全員協議会
- 8日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会
- 10日 予算委員会（全体会）  
総合交通体系調査特別委員会
- 11日 常任委員会・予算分科会（総務）
- 14日 常任委員会・予算分科会（教育厚生）
- 15日 常任委員会・予算分科会（環境経済）
- 17日 予算委員会（全体会）  
全員協議会  
議会運営委員会  
議会改革推進協議会
- 22日 12月定例議会閉会  
会派代表者会議  
広報編集委員会

## 1月

- 7日 議会改革の視察受入（埼玉県鶴ヶ島市）
- 8日 防府音楽祭オープニング街角コンサート（議場）  
議会運営委員会  
議会改革推進協議会
- 13日 広報編集委員会
- 15日 議員研修会
- 18日 総合交通体系調査特別委員会行政視察（～20日）
- 19日 議会改革の視察受入（長門市）
- 21日 議会運営委員会  
全員協議会  
勉強会  
広報編集委員会
- 25日 臨時議会  
議会改革推進協議会

### 3月定例議会の予定

- 2月 24日 本会議（開会）  
予算委員会（全体会）
- 25日 常任委員会・予算委員会分科会（総務・教育厚生・環境経済、現年度分）
- 26日 予算委員会（全体会・採決）
- 3月 2日 本会議（現年度採決、市長施政方針等）
- 4日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 11日 予算委員会（全体会）
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会（総務）
- 15日 常任委員会・予算委員会分科会（教育厚生）
- 16日 常任委員会・予算委員会分科会（環境経済）
- 22日 予算委員会（全体会・採決）
- 25日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

### 編集後記

今年、防府市制施行80周年にあたります。表紙の写真の立て看板は、当時の世相をあらわしています。旧町役場の建物ともども、「隔世の感」の一言でしょうか。

さて、本欄の写真は、今年の広報編集委員の顔ぶれです。議会棟内の図書室で撮りました。お付き合いよろしく願います。



議会広報編集委員会

◎中林堅造 ○橋本龍太郎

三原昭治 山下和明

山田耕治 行重延昭

◎委員長 ○副委員長